

思春期ピアカウンセラー・システムづくり事業の取り組みについて

松本清美（長野県衛生部健康づくりチーム）

要旨：性情報の氾濫・誤った知識による性行動の活発化、10代の人工妊娠中絶、性感染症の増加を防ぐため、思春期の子ども達が正しい知識を得るとともに、性行動などを自己決定する力をつけるように、同世代の仲間による相談体制の整備を図ることを目的として思春期ピアカウンセラー・システムづくり事業に取り組み3年が経過した。県内の広がり、方向性が見えてきたので報告する。

キーワード：ピアカウンセリング、自己肯定感、性に関する知識

A. 目的

思春期ピアカウンセラー養成講座についての若者の変化と講座終了後の活動について分析すると共に今後の活動を考える

をしていく意欲のある人

- ・ 4日間とも受講できる人

表1に開催状況を示した

B. 方法

① 養成講座開催状況の検討

平成15年度から実施してきた養成講座の開催地、開始時期、参加者について検討した。

② 養成講座受講生の状況

これまでに養成講座を受講した147名についてその所属について比較した。

③ 受講後の活動状況

ピアカウンセラー養成講座終了後の活動状況についての検討

表1. 養成講座一覧

主催	開催時期 4日間	受講数		先輩 ピア	共催等
		女	男		
長野	H15.8	28	2		
佐久	H16.3	15	2	3	
佐久	H16.8	13		3	
長野	H16.8	17	3	3	長野市
諏訪	H16.11	11		4	
長野	H17.7	12	2	9	長野市
佐久	H17.8	5		6	上田
松本	H17.12	11	1	10	中信
長野	H18.6	25		10	東北信
松本	H18.7	募集中			中信
伊那	H18.8	定員達成			南信
計		137	10	48	

開催時期は学生の休みに合わせ夏休みが多い。東信地域は参加者が集まらないため18年度から東北信合同開催とした。男性の参加者が少ない(6.8%)。

C. 結果

① 養成講座開催について

平成15年から養成講座を9回開催した。対象は原則として下記の4つを満たす者を呼びかけ定員は30名とした。

- ・ 18歳から22歳の若者
- ・ 性を正しく学び仲間に伝えたいと思う
- ・ 学んだことを活かし、ボランティア活動

② 受講者の状況

147名の受講生の背景について所属する学校別に分類すると表2のようになった。

表2. 思春期ピアカウンセラーの所属

	高校生	看護系	心理系	保育系	その他	計
東信	2	30	1	0	2	35
南信	8	2			1	11
中信	1	6	1	4		12
北信	3	33	41	7	5	89
計	14	71	43	11	8	147
(%)	9.5	48.2	29.3	7.5	5.4	100

東信は看護系の割合が85.7%と高く、南信は高校生が72.7%と高い。

募集学校を決める段階で学校内にピアカウンセラーをサポートできる者の存在を原則としていることが影響していると思われる。

③ 受講後の活動状況

受講後全ての地域においてサークルが立ち上がり自主活動がされている。(表3)

表3. 受講後立ち上がったサークル

	サークル名	定例会	特徴
東信	ぴあぴあ	第3土曜日	3期生中心
南信	Precious Peers (プレピア)	不定期	高3時活動 休止し再開
中信	Matsu☆Peer Colors	第2,4土曜日	学習会中心
北信	Happy Life PEERS	第2,4土曜日	3期生中心 メーリング 書き込み活用

主な17年度の活動状況を表4に示した。

表4. 平成17年度活動状況

対象	中学	高校	大学等	その他
回数	3	13	3	15

概ね1700人に対して活動を実施。

学業の関係でなかなか活動に参加できない学生も多く、佐久では新聞を発行したり、高校生は自分の学校内での活動を養護教諭の協力の下実施している。

D. 考察

当県では147名の思春期ピアカウンセラーが誕生し活動を継続している。

講座時のアンケートを集計すると自己肯定感が平均5→7.8点、ピアカウンセリングへの意欲が6.7→8.7点、性に関する知識が5→7.7点(10点満点中)へと上昇している。

思春期ピアカウンセラーは性に関する知識の習得とピアカウンセリングスキルの訓練をつむことが必須である。ピアカウンセラーを支える者にはピアカウンセラーが仲間と共感・共有しながら活動したいという主体的な意思を尊重して支えていくことと、その活動が自由にできる場の確保が求められる。

講座で高められた知識、意欲がサークルへ入ることで維持できるシステムが整ってきている。

県内では保健所がコーディネーターとなり、学校、医療、保健関係者と連携をとりながら思春期の性の健康を支える取り組みを行っている。

18年度は看護大が養成に加わり南信地域に新たな拠点が誕生する予定となっている。

今後は思春期ピアカウンセリングの有効性について検証していきたい。